

Berlin Report

September 2020

CONTENTS

- * Project 1: KINK / Bar & Restaurant
- * Project 2: PORTIER Coffee / Cafe

1. KINK

Project Overview

「KINK（よじれ、ひねくれ）」という名前を掲げた店は、19 世紀に建てられたビール醸造所の跡地の一角を改装したレストラン&バー。名前のとおり「一筋縄ではいかない、一つのスタイルでは括れないようなインテリアを目指しました」と、オーナーの一人でインテリアを担当した **Oliver Mansaray** は言う。

1841 年に建てられた煉瓦造りの工場は、ベルリンの壁崩壊後、1990 年代には若いアーティストが集まるカルチャースポットとなったが、その後観光地化し、地元の人は寄り付かなくなっていた。しかし建物のオーナーが代わり、オラファー・エリアソンのスタジオや建築設計図のミュージアムやギャラリーなどが集まる魅力的な場所へと変わりつつある。**Mansaray** と共同オーナーの **Daniel Scheppan** は、1990 年代の様々な客層が入り混じるボーダーレスな場をイメージして、このレストランを作り上げた。

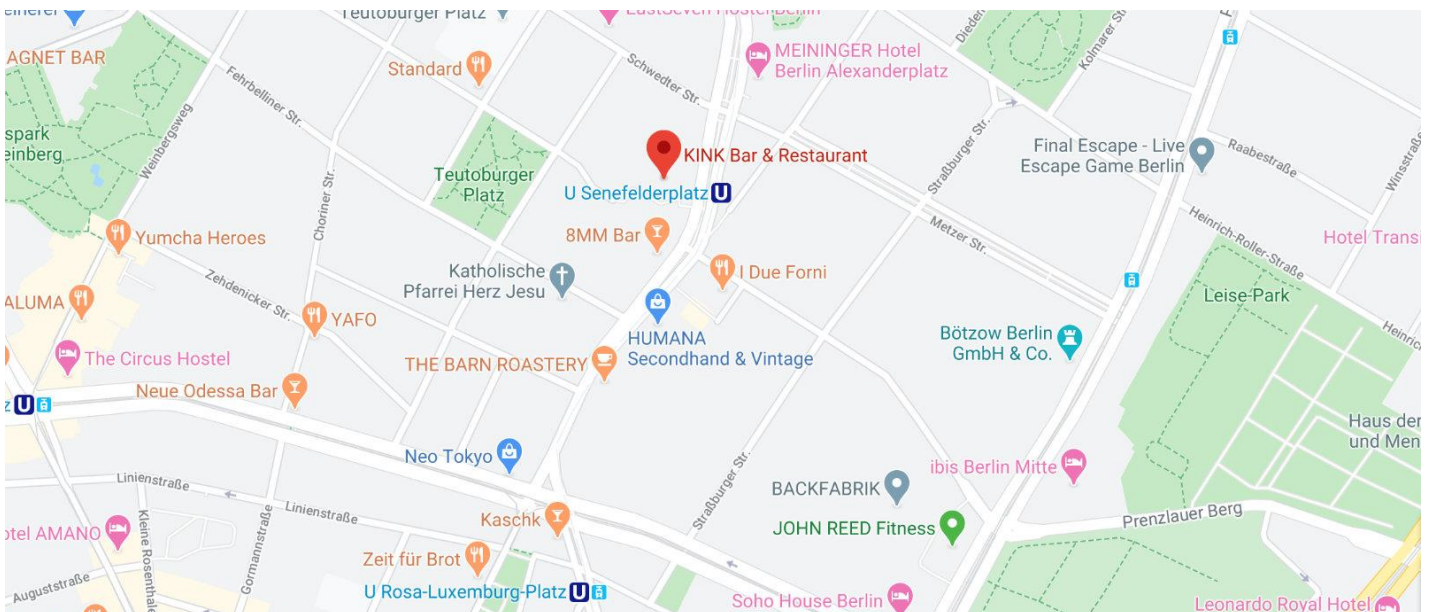
「高さ 8 メートルもある立派な空間は、何もしなくても高級感がある。だから、家具は古道具店で見つけたシャビーなものや高級デザイナーズ家具をミックスし、デザインや色を揃えないように気をつけました。壁の塗装を剥がしてそのままにした部分もあるけれど、床は高級感ある木材を使ったり。」

バーの空間を彩るのはスイス人アーティスト、**Kerim Seiler** に依頼したアート作品。大きな天井に思うまま落書きをしたかのようなびやかな光の線。シックなバーカウンターの後ろには古いマットレスを並べたソファと剥き出しのレンガ壁。ハイセンスなのに誰もが寛げる一角があり、コロナ禍にあって連日満員というのにもうなずける。

Project Details

1. Type of Business : Restaurant Bar
2. Open Date: 01/06/2020
3. Location: Schönhauser Allee 176, 10119 Berlin
4. Size: 600 m2
5. renovation, design: Hidden Fortress / Oliver Mansaray

LocationMap

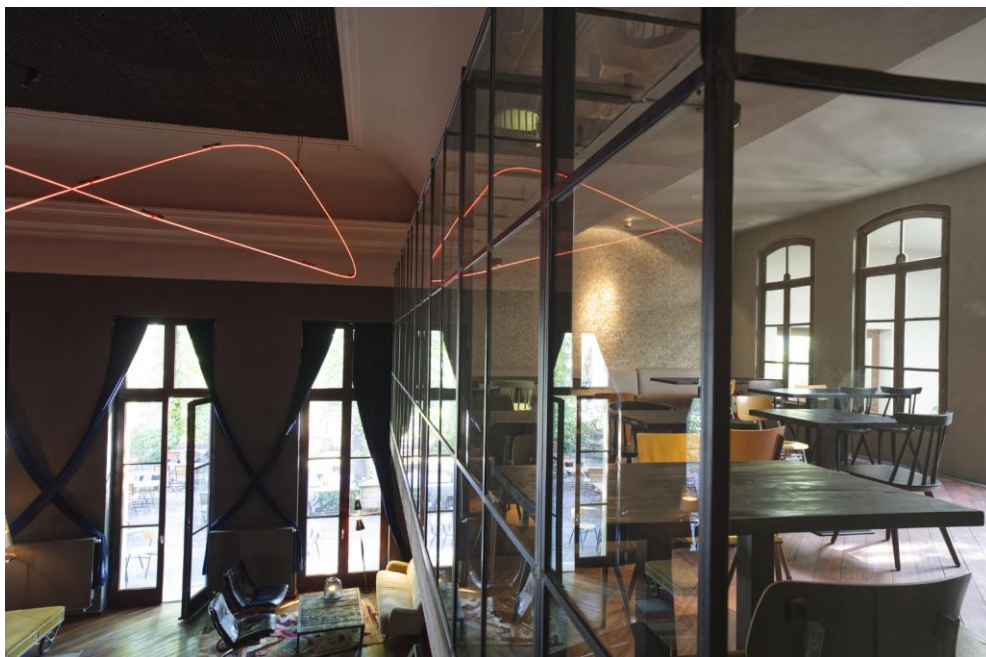




Kerim Seiler の作品が印象的なバー。100m 以上の長さの赤く細いネオン管が、高さ 8m の空間をキャンバスに抽象画のように広がる。



空間の高さを活かすために、中二階だった部分を一部壊して解放的に。自然と視線がオープンキッチンへと誘導される。
テラス席とつながる大きな窓の横にはマクラメのプラントハンガー。外の空間と呼应するようにグリーンを増やしていきたいという。



バーに張り出す中二階部分



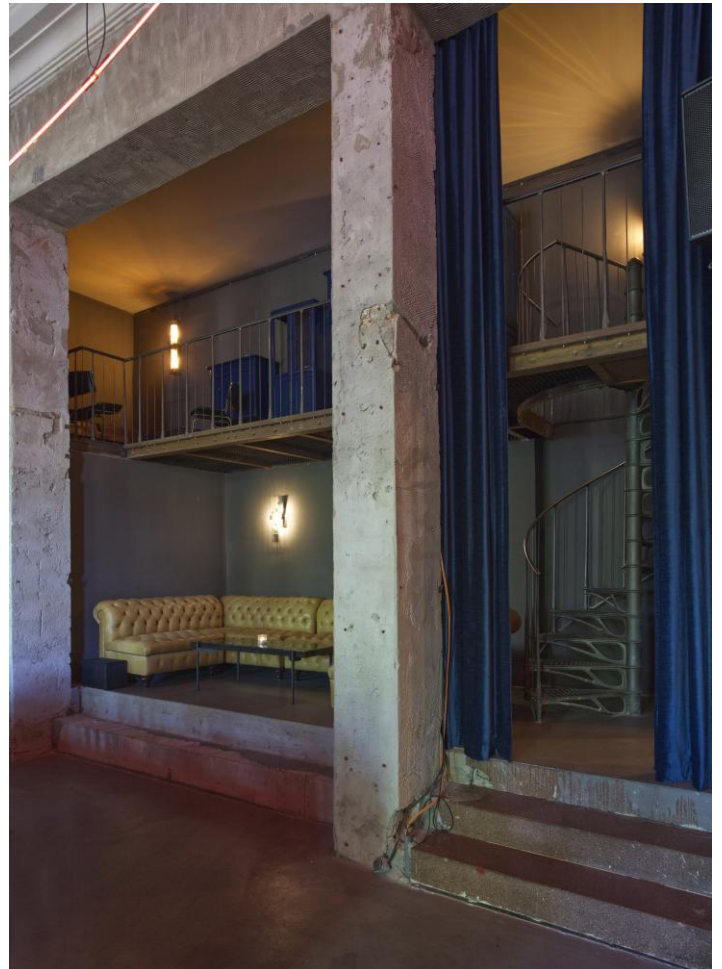
ヴィンテージのスタイルミックスが心地よさを演出



レストラン空間の一部に残された中二階。縮小し下の壁を取り払ったが、建物を支える壁の一部だったため大変だったという。



壁は、レンガを剥き出しにしたり、壁紙を剥がした跡をあえて残したり、扉も塗装を荒く剥がしてそのままにするなどラフに仕上げ、空間の豪華さや高級感を中和させるように心掛けている。しかし飲食店なので汚らしく見えないように色は明るく、床など残りの部分は綺麗に仕上げています。



2. PORTIER Coffee

Project Overview

「実はこの建物は、ベルリンでも最もお金がかかった建物なんじゃないかな」と、オーナーの **Ayhan Yilmaz** は笑う。20 世紀初頭に建てられた郵便局の跡地に作られた工場のポルティエ（守衛が居る入り口の建物）の中に作られたカフェ。建築当時のままという、コロンとしたキューブのような空間の後ろに細長い廊下のようなスペースがついている建物なのだが、実はこの上にレンガを使った建物が増築されている。

文化財保護下にある 1 万 2 千平米の敷地を住宅として改装したのだが、その際に、手前にあるこのポルティエの周辺の空間がもったいないということで、ここにも住宅物件を作る許可を申請したところ、文化財保護の問題で、このポルティエだけは完全に当時のままに残すならば、という条件がついたのだ。そのため一度この建物を解体し、レンガなど全てのパーツを保存した。そして住宅が建った後にポルティエ部分を組み立て直したのである。

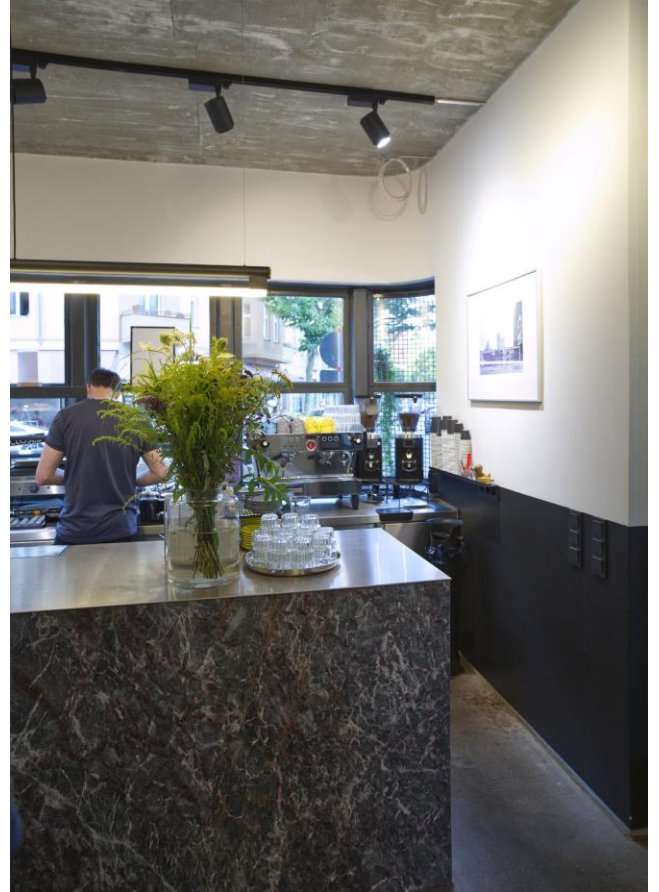
手前の 16 平米の空間の半分は、カフェと軽食を準備する空間。ビル全体のファサードの調和を保つために、上部の住宅部分の手すりの色である濃いブルーグレーを窓枠に施すことが義務付けられていたため、それに合わせてインテリアやカップなどの小物もグレーを基調にして、水色と黄色を刺し色にしている。花や、外に並べた椅子もパッと目を引く黄色に揃えた。冷たい印象にならないように、壁は明るく温かみのある卵の殻の色をチョイス。床と天井を打ちっぱなしのコンクリートにすることで、建築の持つ無骨さを強調し、カウンターは厚みのある大理石を使って高級感を出している。

Project Details

1. Type of Business : Cafe
2. Open Date: 23/11/2019
3. Location: Belziger Strasse 33, 10823 Berlin
4. Size: 25 m2
5. renovation, design: Vytas Caim, Ayhan Yilmaz

Location Map





カフェの上は全て新築。同じレンガ素材を使えなかったのが惜しい。 グレーを基調に、花やカップなどで所々に黄色のアクセント。



丸みのあるキューブ状の形状が可愛い。フロントサイドの窓には当時の保護用の網が残されている。
バウハウス建築にも通じる産業建築。